

公表：2022年 3月 1日

事業所名 NPO法人 キッズコミュソレイユ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点、及び課題や改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・基準となるスペースは満たしています。 ・限られたスペースですが、安全に配慮しながらダイナミックな運動的活動も行っています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・専門職の加配を行い、十分な数の職員を配置しています。 ・実習生を受け入れた時期は、職員以外の大人の数が多くなる場合があります。保護者様に対して周知を行うと共に、状況を見て人数を調整していきます。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・設備の完全バリアフリー化は出来ていませんが、教室内はお子様がつまづきにくいよう配慮しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・中間評価の話し合いや指導方針を決める策定会議等に多くの職員が参加しています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・毎年、保護者様に評価表の記入をお願いし、保護者様からの評価や頂いたご意見を職員間で共有し、話し合いを行っています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・毎年、自己評価を行い、ホームページで公表しています。そして、1年間の振り返りと業務改善について話し合いを行っています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・新人研修では、発達の理論的な研修や、活動プログラム等に関する研修を行っています。 ・職員全体では、非常災害時の訓練・救命救急訓練・虐待防止研修・感染症対策等の研修を行いました。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・検査結果や保護者から聞き取りをした情報を基に、個別支援計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツール(検査)を使用しているか	○			・LCスケール(言語・コミュニケーション発達スケール)LCSAを必要に応じて行っております。今後は、検査についても掲示をし、さらに相談しやすいようにしていきたいと考えています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・ミーティングの時間を確保し、担当職員で各グループにあったプログラムの立案を行っています。

適切な支援の提供

⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループに見合ったプログラムの立案をしています。その為、クラスによってはあえて固定化させている場合もあります。あえて固定化している一例としては、見直しをもてるようになり、自発的に取り組めるようになること・繰り返し行うことで達成度をあげていくこと等です。同じ活動を長期間続ける場合には、保護者様にねらいを説明して、ご理解を求めることを心がけていきたいと思ひます。</li> <li>・お子様の課題を考え、色々な変化を取り入れながら活動プログラムを考えるようにしています。</li> </ul>
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2時間単位の通所型の事業所のため、できる範囲に限り課題を設定しています。</li> </ul>
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団活動を中心に行っていますが、お子様の状態に合わせて個別活動を組み合わせ、計画を作成しています。</li> </ul>
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングの時間に、情報共有や活動内容・方向性について話し合い、支援の向上に繋がるよう努めています。全体としては、十分に話し合う時間を確保しているのですが、ミーティングの時間帯によって、活動前の話し合いが短くなってしまうこともあり、工夫して取り組んでいきたいと思ひます。</li> </ul>
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子様の様子をよく観察し、職員間で情報を共有しています。また、次回に反映出来るよう振り返りを行い、支援に繋げています。</li> <li>・一方、ミーティングの時間帯によって、支援終了後の振り返りが十分に出来ないこともありましたが、活動の記録を行い、情報共有出来るように努めています。</li> </ul>
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日のお子様の様子を指導書に記入し、職員間で共有しています。</li> </ul>
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・6か月に1度モニタリングをし、個別支援計画の見直しを行っています。</li> </ul>
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・当事業所は、『ア：自立支援と日常生活の充実のための活動』に特に力を入れて行っています。その中で、意欲的に関わられる遊びを通して成功体験を積み、自己肯定感が高まるよう支援しています。</li> </ul>

関係機関や保護者

⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援事業所を介している利用者様に関しては、電話にて担当者が対応し、情報共有を行いました。</li> </ul>
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか				<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎がないため、学校の情報共有は保護者様を通じて行っています。</li> </ul>
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				<ul style="list-style-type: none"> <li>該当者なし。</li> </ul>
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援事業所から継続して利用される方がほとんどのため、就学前の情報を引き継いで切れ目のない支援を行っています。</li> </ul>

との連携関係機関や保護者との連携	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	/	/	/	該当者なし
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	・1週間に1回、2時間程度のご利用のため、事業所として交流機会は設けておりません。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○	
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・日々の変化やお子様の課題について、面談時だけでなく、活動終了後の対話を通して共通理解に努めています。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・ご家庭での過ごし方やお子様への接し方などを具体的に伝えられるよう心がけています。
保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・通所利用開始時に時間をとり、丁寧な説明を行うよう努めています。 ・運営規定は、多目的室に掲示しています。利用者負担については毎月の請求書に表示し、変更のある時は掲示にてお知らせしています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・必要に応じて適宜面談を行っています。保護者様の思いやお悩みに気付くことができるよう、日々の対話を心がけていきたいと思っております。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・1月16日に藤沢市民会館にて、保護者交流会を実施致しました。コロナ禍の為、懇親会は中止となりましたが、先輩保護者様を招いて学校生活や職業・子育て等についてお話し頂きました。参加された保護者様から「参加して良かった」という声を沢山頂き、今後もこのような機会を設けていけたらと思います。 ・同じグループ内で、保護者様同士が話しやすいような場面作りを心がけていきます。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・困りごとやご質問にいつでも対応できるように、待合室にご意見箱(みんなのこえ)を設置致しました。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・主に、教室内の掲示板にて予定や連絡をお伝えしています。わかりやすい発信方法を検討していきます。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			・個人情報となる資料等は、鍵付きのロッカーで保管しています。 ・個人名のある書類の破棄にはシュレッダーを使用しています。また、個人名のある書類の移動(事務所から指導室)にはキャリングバッグを使用しています。

	③⑥ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・保護者様に関連のある情報については、口頭だけでなく文書にて掲示をしたり、お知らせをお渡ししたりしています。
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			・近隣の大学からの実習生を受け入れ、地域に開かれた事業運営となるよう努めています。
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・適宜マニュアルの見直しや、備品のチェックを行い、訓練を実施しています。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・時間の都合上、利用者様には、書面による説明のみ行っています。 ・職員は、地震を想定した実地訓練を行い、発生時の対応や避難所までのルート等を再確認しました。また、今年度は救命救急講習を受講し、心肺蘇生法やAEDの使い方等の訓練を行いました。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・今年度は新人研修だけではなく、職員全体で虐待防止に関する研修を行い、理解を深めました。今後継続して行っていく予定です。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)に記載しているか	○			・個別支援計画書には記載してありますが、今後は保護者様に対して十分に説明することを、より心がけていきたいと思っています。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	/	/	/	該当者なし
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・毎月の会議で前月の事例について改善策を検討しています。また、それぞれの活動別に安全の配慮点をまとめて、職員間で共有しています。